夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電３８１ １２２２

案外平静な選擧
舌戦愈よ白熱化す

第三区の選挙は一日午後小野一雄氏が無所属で立候補届出をなしたので届出者はこれで六名となり定員二名の倍となり、早くも舌戦の火蓋を切つた、一日舌戦のトップを切つて自由党の関内候補は平市内各所で自動車から降りて立候補の挨拶に次で所信の一端を述べるや流石に地元だけに〃しつかりやつて下さい〃と見知らぬ婦人から激励される場面も見られ、同候補は二日から日程によつて郡内に駒を進めた、一方右社の松井候補も一日午後平市内で第一声をあげ、二日午前中小野候補も平市に姿を現わし舌戦を行つた、従来の選挙と違つて連呼は御ハツトとなつたので〃御願いします〃とか〃御挨拶に参りました〃とか連呼して廻ることが出来ないので今のところ案外静かな選挙風景をかもし出している

（写真は関内候補の第一声…平市内にて）

きのう届出

小野一雄（四三） 無所属（新）会社々長、植田町仁井田字高寺前三七、東京農大農業経済科卒、元農林省上海興和院大東亜省外務省勤務、常磐園芸ＫＫ常磐製油ＫＫ社長

選擧事務所
六候補者の

第三区六候補の選挙事務所は次の通り

▼関内正一 平市三丁目二一マルサ、電話九六七、二三二一、事務長木村守江
▼鈴木直人 原町市大字南新田字南東原一、電話二五四、事務長青田稔
▼高木松吉 浪江町新町新谷呉服店、浪江七番、事務長佐々木知
▼小野一雄 平市田町染野紋店 電話申請中、事務長渡辺行雄
▼松井政吉 平市四丁目局前、電話二一七五、事務長大内近雄
▼大河原一次 平市白銀町元三菱殖産、電話二一七七、事務長会田亮

三月末に市議選
磐城市地方選のトップ切る

地方選挙のトップを切つて磐城市の市会議員選挙が三月三十日ごろ行われることになつた、このため同市選挙管理委員会（委員長小浜長太郎氏）では三日午前十時より委員会を開き選挙期日を正式に決定することになつたが三月十五日告示、三十日選挙になる見込みが強くなつた、同市では去る二十四日公布になつた「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律」により県議は四月二十三日、市議は四月三十日に行われるものと解釈していたところ「選挙期日の特例除外」の項目で磐城市のような町村合併で議員の任期を延長したところは適用にならないことが判明したものである

即ち同法律の第二條によると「この規定は町村合併促進法の規定の適用により引続き在任することゝなつたその議会の議員の任期がこの法律施行の日から昭和三十年五月二十日までの間に満了することが予定されていた市町村については適用しない」とあり結局四月に行われる一般の地方選挙より一足先に磐城市議選が実施されることになつたものである

野心家はあわて氣味

四月選挙を予定していた磐城市当局では一カ月も繰上つて市議選挙が行われることになつたので事務的にも多忙となり目下編成中の昭和三十年度当初予算も現議員によつて審議してもらう予定になつているので三月定例市会は三月五日ごろ招集し五日乃至一週間の予定で審議を済せたい方針でこれが終了後の十五日ごろ選挙告示をし三十日投票とするかまたは十三日告示、二十八日選挙何れにしてもこのごろに市議選を行う予定でいるこのため地方選挙のトップを切ることになつた磐城市では立候補を予定していた人達も期日が繰上つたのでいさゝかあわて気味の向もあり、特に県議選とからみ有利に戦う作戦を練つていた保守、革新両系にも少なからぬ誤算を生じたようである

關内候補三日の日程

関内候補は一日立候補の手続を終るや同日午後直ちに市内の街頭演説に乗り出したが、二日は神谷、向鎌田、上神谷、塩、中神谷、片寄草野、大浦、四倉、大野、小川赤井等を遊説した、三日の街頭演説は次の予定で行われる

▼午前八時 片石岡、高崎
▼午前十時 川前、上下桶売その他
▼午後二時 中、下三坂、差塩一円

平年より氣溫は高い
二月の天氣豫想

磐城市小名浜測候所では平年より気温が高い見込みだと二月の天候予想を一日次の通り発表した

【気温】▼上旬、一時冬型の気圧配置になることもあるが大陸高気圧の発達が弱いため全般に平年より高い日が多く一時かなり高温の日も現われ旬平均では平年より高い見込み▼中旬、旬初めと旬末ごろに一時天気がぐずつき平年並か多少低目となるところもあるが旬半ばは高い見込みで平均としては平年よりやゝ高目となろう▼下旬、旬初め及び末ごろに冬型の天気となり一時やゝ強い低温が現われる見込み、然し旬半ばは平年より高く平均では平年並かやゝ高くなろう

【降水量】▼上旬、全般に平年より少ない見込みだが旬の後半は降水の多い傾向▼中旬、多少多目の見込み、旬の後半は天気は崩れやすくなろう▼下旬、一般に少目だが初めごろと末は一時天気が崩れる見込み

選挙余談

一日からめまぐるしい選挙運動が始まつた、三回当選の貫録を持つ関内候補は今度こそは政治生命をかけた戦いだと心気一転、前回にけ疲れと寒さのため少量の酒を体に入れたが、今回は禁酒と決めビタミンの注射だけで戦い抜くことになつた、これも選挙斗争をきれいにやろうとする深慮かららしいが、マルサの選挙事務所には神々しい神棚が飾られ「必勝、為関内君」と墨こんあざやかな緒方総裁の書も飾られ、家の子郎党がわざわざ山形の月山、羽黒山、湯殿山の三山から必勝を期すために頂いてきた護摩を始め七曜会、三虎会などの頂いてきた平市子鍬倉神社などの護摩札やダルマなどを飾り、自由党公認の証書を張つて勇気百倍、郷土の名誉にかけて勝ち抜こうと凄く張切つている

（写真はその護摩札）

植田町委員會

植田町では一日午前九時から会議室で国保運営委員会、同十時から厚生委員会を開いて種々協議した

珠算連盟
新役員決る

産業教育振興と珠算教育の発展の為に昨年結成された福島県浜通地区珠算教育連盟の臨時総会はこのほど開き役員の改選があつた、新役員は次の通り

会長 円谷隆洋（平共進高等実業学校々長）副会長 根本健一郎（広野双葉珠算学校々長）同 高木正美（湯本高木珠算塾長）常任理事 村松芳隆（内郷村松珠算塾々長）〃進藤槇次郎（湯本台の山珠算研究所）〃森武治（内郷森珠算塾長）〃佐川信一（内郷佐川珠算研究所）理事 四家正（内郷川井珠算塾長）監事 猪狩弘（勿来勿来珠算学院長）〃小野松平（平白銀珠算塾長）

植田高敷地
この程決定

植田町では植田高等学校の敷地を選定中であつたが、この程錦町区域に当る（植田町渋川に面した農耕地帯）新設堤防内約五千坪に決定し、目下土地所有者（植田居住）と買収交渉を重ねている

常磐電々局の敷地斡旋

常磐電報電話局の新築敷地の問題についてこのほど仙台市東北電気通信局建築部斉藤管財課長が来常し、常磐市役所で矢吹市長、小野副議長外関係議員と会見し、電報局が希望している品川白煉瓦会社前の会社清風寮附近の土地の斡旋方を申入れ種々懇談した

訂正

一日付衆議員立候補者の略歴中一部誤違の分に関内、高木、松井氏の当選二回とあるは三回の誤りにつき訂正します、また「立候補確認」と題する記事中高木国男とあるは高萩邦男と訂正します

天気予報

二日

【今晩】東よりの風曇一時小雨がパラつく

【明日】東乃至南の風曇時々晴一時小雨がパラつく、海上今晩は始めおだやかのち風波がヤヤ高くなる、明日は風波がヤヤ高い見込み

岡ヵ見物

▼民主党の外廓団体である石城自由クラブが反対党の役員、木村守江参議員以下自由党の県会議員をゾロリと顧問に並べ木村参議員から抗議を喰つた、子供ダマシの行為で世間の笑い草と成つているが▼この顧問陣に諸橋市長は先ずよいだろうが、草野坂本豊間遠藤、高久鈴木の平市各支所長の名前が載つている、各支所長が公務員で政治團体のメンバーに成り得ないと位判つていそうなもの▼これをしも、高木候補を応援するメンバーであるが如く見せるための謀略とすれば、公明選挙を冒する悪質な行為である、前四支所長は随分迷惑を受けているようだがこの氏名も取消さずに置くつもりかどうか見ものだ

松月堂

松月堂

新學期入學生募集 實務科
縣下唯一の公認實業學校
短期間で實力養成
▽入学日＝四月十三日▽面会日＝四月十日午前九時▽願書受付開始▽卒業＝一カ年
公認 共進高等実業學校
平市番匠町四〇（平機関庫北側）
履修科目 ▽簿記▽英語▽作文▽珠算▽社會▽書道▽商業計算▽商業經濟▽洋裁（女子）

産婦人科
平市材木町聚楽館前
中田医院
電話一〇九七番

麗人 春期大募集 住込高給優遇
平市田町ひかり座裏 バー ロンシヤン

最高の品を 最低價格で
榮養ある 神戸フリシモ牛
牛肉の 緑屋
平市一丁目 電五三九
平市中央通 電七九四

○喜多流 謡曲 仕舞
○幸流 小鼓
お稽古 毎週月金【入会随時】
平市田町電一二七 白土稽古舞台

登録商標
海苔茶唐佃煮
和合
食道楽
真心の店
大沼商店
千葉 東京

夫婦圓満のしるべ
一本で一ヵ月持續する
◇持続性男性ホルモン テスチノンデポー 一五〇〇圓
◇持続性女性ホルモン ペラニンデポー 一〇〇〇圓
青葉薬局支店
平市駅前三十米大通り電九二七

暑さ寒さ知らす ①

宛ら寒國の國境警備

望楼勤務の消防監視

「寒い夜空にけたゝましくなる半鐘の音、想像しただけで寒い感じのする昨今、拍手木ならぬ火の用心とばかり冷やかな鉄塔の上で仕事とはいえ零下をこゆる真夜中に寒さとスイ魔と斗いながら民家を火の恐怖からまもるため全神経を注いで挺身している消防監視員の知られざる苦労は並大抵ではない唯時間知らせのサイレンとばかり考えていた認識不足を恥じながら寒い仕事のナンバーワンにこれだとばかり平市常備消防署を訪ねて見た、先ず第一望楼の高さが七十五尺ときいて驚く、平市の中央にそびえる物見櫓とくらべてわずか十尺ひくいだけとは

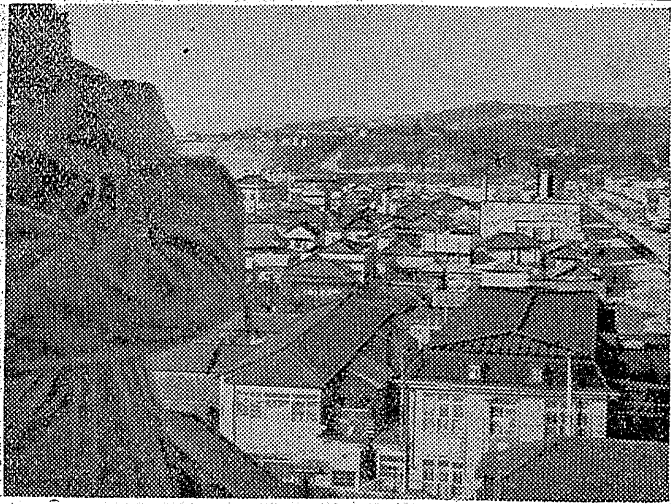
恐る恐る鉄梯子をのぼり上に進むにしたがい風のためか自分の恐怖心か七十五尺の鉄塔がぐらぐらと動く、自分のサツカクだけではなさそうだ、思わずワキの下から冷汗が出る

頂上から眺望するのも絶景だが、下を通る人々を見てガリバーの旅行記を思い出す、目がくらむ思い旧平市内は一望に見られ備えてある双眼鏡（肉眼の八倍）で西方をのぞけば炭鉱の町内郷市が手にとゞく近きに見える

勤務時間は二十四時間で一組六人で一日四回登楼して一時間交換、夏の暑い家は冬寒いの例えの如く夏は風防のためむしあつく正午以外は日よけがないので閉口するとか、夜は蚊でせめられる、下界には血の気が多くて困るとばかりとつてすてる奴さえあるのにと一人ふんがいして本論に入る

「昼間でも防寒服は必要でこれをきていても寒いのをとおりこして冷たいのです、高い所にいるわけではないが俗にいうすそ風、これが嫌ですね」という、なるほど吹き上げてくる風は冷たい、夜になると冷たさがひときわ強まり鉄骨は氷の様にひえ外気はこおり火の気一つないいやおけない望楼では雪国の人と同じ様に凍傷から身をまもるため足ぶみをしたり、頬をたゝいたり、挙句の果は枠を蹴飛ばしながら一時間動き通し、更に閉口なのは雨や雪の降る日で視界もきかず防水具は役に立たぬ有様で民間人には想像もつかぬ苦労がありますとは丁度一昔前の国境警備隊の監視兵の心境がうかがわれる、さすがに勤務中の辛さをグチに出すこともなく火防第一線に立つ気がまえ、責任観念と直結していることが伺いしれる唯火災発見や、出動、到着が一部の人々から「遅い」と言われることは身を切られる程辛いが、これは決しておそいのではなく火災の手が家の中をまわりそれから外部に出るので監視の注意怠慢ではない火事と判明してから出動するまでの所用時間に三十秒、即ち「発見、全員集合、発車」までの間で三十秒以上を費したことは一度もないとのこと、その迅速振りは驚嘆し最後に勤務の毎日は休みですかと聞いたら「とんでもない非番の時は単車で水道施設のない学校へ非常給水をやっているのです」との話、「勤務とは言え本当に御苦労様です」との感謝の念をのべずにはいられなかった

滞空時間約一時間石城特有の空ッ風は遠慮なく望楼につきあたる頃平の町はたそがれ時、下界はネオン輝き初め遠くに汽笛淋しく夕空にこだまする、今宵も望楼上では再び徹宵の緊張が続けられる、市民のために！



（写真は平消防署の望楼）

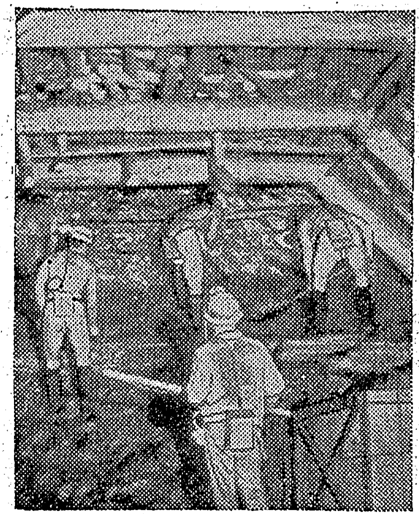
素人は一時間で悲鳴

酷熱・地下で働く採炭夫

「朝の早よかっようカンテラさげてない」…といせいの良い歌声かにきこえる炭鉱の町で出勤途上と思われる一人をつかまえてぶしつけにも「どうですか坑内は暖かいでしょう」と第一問を発して見た、とたん「暖かいかつてとんでもねえ、塩のカタマリをなめなめ仕事をしている俺らに何を言つてるんだい」とクイズもどき回答の出る鉱内作業員の口をかりれば正に常夏ならぬ熱帯そのものずばり暑さのため身体中の塩分が汗と一緒に出てしまうので止むを得ず塩をなめなめ仕事をするのだそうだ南方の土人が塩を高価な物として珍重する理由が今始めて教えられた様な気持になつた、こゝ常磐炭鉱は人も知る日本三炭田の一つに数えられ吾が国産業界に大きな役割を果している黒ダイヤの産地として地下六百九十米を最深として平均五百から六百米の坑内は延約百粁にわたり連日延約六千人の産業戦士が直接採炭夫としてフンドシ一本と安全帽の軽装でコール・カツター（別名ピック）をかゝえて黒ダイヤの層にいどんでいる姿は正に地上の冬とはエンの遠い話である、年間平均温度摂氏三十五度というから丁度真夏の暑さに匹敵する温度である、夏季には更に温度が上昇するため保安上特別に一人当り五百匁の割で大きな氷柱が各現場に数十本ずつくばられるがこれもまたゝくまに消えてしまうとの事であり、これは渇をいやすため仕事の合間合間に涼しい感触に地上の涼をしのぶ人々がとつそり失敬するそうだ、冬場は氷柱の世話こそないが地上から送られてくる水は早い者勝ちとばかりの売れ行き振りであり、阿武隈山系の断層から湧出すると言われる温泉は摂氏六十度の高熱を有しているため蒸風呂に入つている有様、たゞいてさえも暑い坑内故当然の現象とも言える

このため坑内では悲喜交々の珍現象が起きている、この高熱の温泉を利用してユデタマゴとしゃれこむのも一興であるが、最も傑作なのは古くなつて固くなつた納豆をそばにおくと新鮮な糸をひくとか、これと反対に待望の飯時に愛妻や寮母の優しい心ずくしに感謝しながら弁当のフタをあけたとたん暑気のためオカズがダイナシになつてベソをかく人もあるとか

勤務は一番方から三番方まで三交替制で労基法通りの八時間交替ハッパ、モーター、砕炳等の喧々ゴウゴウたる騒音と出る汗がなくなつてしまう様な暑さのためなれぬ人間は一時間もまたず、ネをあげてしまうのが常だ



（写真はじやく熱の中に働く採炭夫）

珠算合格者 ❷

三級 半谷みつ子　早川光子　佐藤栄子　梶間啓子　桑名節子　佐々木哲夫　坂本八重子　会田勝久　志賀和子　久保木保子　坂田久子　芳賀隆義　長島司郎

四級 松枝進　多賀弘一　赤間七郎　柴山健治　菅野卯一　小島勝子　菅野英臣　阿久津稔　羽賀紀雄　塩谷秀雄　根本陸郎　南條雄子　矢沢静子　掃部関智之　山田咲子　江黒美智子　金城たま江　園部永子　松田文彦　柴野千恵子　小松富士子　佐藤一之　稲沢栄一　堀正幸　平木辰夫　蛭田光俊　小盤治雅一　高木トシ子　羽曽部和幸　鈴木恵美子　猪瀬栄子　安田英弘　舘野淳　菅野隆一　今野美也子　渡辺真司　名和幸一　林一男　池田昌則　新妻愛子　松本千恵子　小高和子　先崎美代子　佐川比佐子　南雲教子　照丸トヨ子　伊藤隆治　宇佐美広安　大平みさを　芳賀登喜子　戸田令子　久田孝子　渡辺啓子　富岡マズ　大平三涯子　渡辺正子　笠原昭男　南盤三郎　片谷常吉　柏原利安

ズリ山を仰ぐ子供達

泉川今雄

【77】

大体に於いて俺が折角発言したのに笑う奴があるかと思つたから猶更大きい声でいつてやつた。「野菜を食べて痛くなつた時は間違つて虫を食べてしまつた事がありました。」と附け加えたら先より更に大きく笑われてしまつた。

理科の時間はこんなわけで笑われ通しの中で終つてしまつた。特別笑わせようとして冗談を云つたのではない飽く迄も実際の事をいつたまでだ。こんな時には真面目に聞くものだ。俺が発言のトップを切つてからはみんなと云つていゝ程発言した。事自分のことゝもなると発言しいゝのだろう。大抵似たりよつたりの内容だが一人俺の発言と同じ事を云つて笑わせたのがいた。俺は笑わないで拍手をしてやつた程だ。拍手などはそう簡単に出来るものではない。意気投合したら誰にでも拍手を送つてやるのが俺の態度だ。

意地つ張りのところがあるが、兎も角このごろはよく覚える。少しずつ分かつて来る様な気がする。分かつて来る様な気がすると一人でに勉強したくなる。勉強したくなるから頭がよくなるのかも知れない

昼食の時間は楽しいものである。この時間は千歳先生も姉さんの様な親しさで接してくれる。お互いに家族の一人一人として一つの膳に向かい合つて食べる様だ。

最初に先生が「みなさん、これからおいしい御飯をよくかんで頂きましょう」というと、みんな一緒に「頂きます」といつて箸をとる。みんな大口をあけて弁当にパクつく。先生はさもおいしそうにゆつくりゆつくりよく噛んで食べている。

俺の弁当は組で一番大きいのである。俗に土方弁当という奴だ。勿論千歳先生より大きい。千歳先生の視線と合うと俺は正面のところ気まりが悪くなつて無意識に弁当を両手でかくすことがある。俺は大めし喰らいの健三である。大きくなつたら相撲取りになつて土俵に花を咲かせる積りである。なんでも先生はこんなことをいう「健康が第一です。丈夫な身体をつくつて下さい。雨が降つては頭が痛いの、風が吹いては学校を休むのつていう様では駄目です。常日頃丈夫な身体をつくつて下さい。」

俺はこの言葉を身にする度に丈夫な身体をつくろうと思つて実はこの土方弁当を持つて来る様になつたのである。先生は二十分もかかつてゆつくり食べるのにさざなみ君は五分間で「さつさ」と食べてしまう。全く目まぐるしいものだ。よく胃が故障しないものだと感心する。さざなみ君ばかりではない、大抵はそうだ。何んにも早く食べたからといつて誰も賞めては呉れやしない。なにも他人のことを兎や角いう筋合いはないがまあ腹痛でも起こしてからでは遅いから老婆心ながらいつておく。天高く馬肥ゆるシーズンだ。弁当大きく人肥ゆる季節でもある。

昼休は約五十分位ある。午前中から午後にかけて最も長い休み時間である。校庭一杯に群がつて暴れたりボール投げをしたり相撲をとつたりめいめい自分達の好き勝手な遊びに打ち興ずる。

俺が友達とボール投げをしていると校門の処に三人の中学生がいかめしい格好をしてたつていた。この前の不良連中らだ。彼らは俺の姿を見つけようとしている。

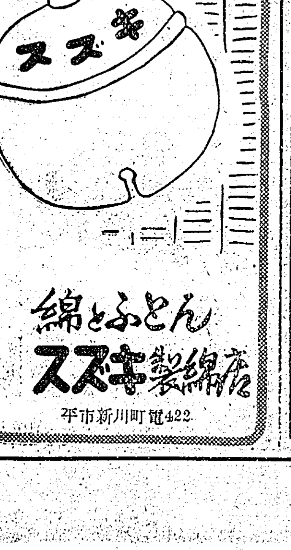
御礼参りにやつて来たのかも知れないと考えてみた。なんだつてそれ程迄に俺を憎いのだろう。俺が彼らと手を切つたので復讐したいのだろうか。考えてみりゃ猫にも劣る奴等だ。俺は見て見ぬ振りをしてキヤツチボールをしていたフライを投げたらボールが青空高く上つて吸い込まれて行つた。先生方も校庭に出ていたので彼らはいつの間にか校門の処にはいなかつた。

第3回　世界の有名品
特賞10万圓が當る
2月1日から
プラチナ
高級萬年筆インキ
正14金ペン付 800円より
耐酸ペン付 200円より
平市三丁目　岡万年筆店　TEL 399

PLATINUM
プラチナ
Blue-Black Ink

ラジオ
部分品　電球　螢光灯　乾電池　電気器具　暖房器具の御仕入れは各一流メーカー代理店の弊社へ
田村無線電機株式會社
平市1の47　TEL 636

諸病の灸
平市八幡小路（八幡宮鳥居前）
せつ
二八の灸眞陽堂本院



綿とふとん
スズキ製綿店
平市新川町電422

お料理折詰用蒲鉾　荘寅　三丁目　電四一

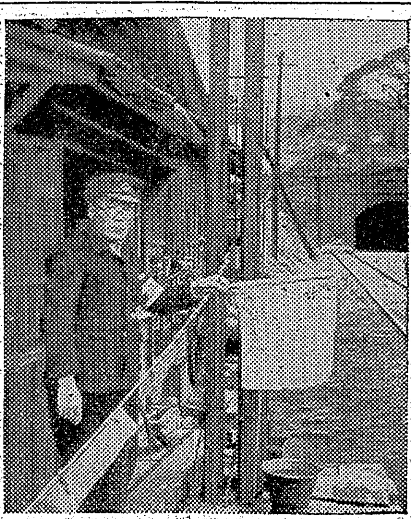
思いのまゝに白くなる
セルゲール
ベノウパスター
強力美白クリーム
定価 一八〇円　二五〇円　三五〇円
米国のゴム工場で働く黒人の手が白くなつた事から強力美白素PBPが発見された、強力美白クリーム ベノウパスター が完成されました。色白肌になりたいお方は是非お試し下さい。素晴しい色白の生き生きした艶肌になります。
藤越の花藤サロンではこの ベノウパスター を使用してシミ、ソバカス、色黒を見違えるようなお顔になおして差上げていますから、ご遠慮なく花藤サロンをご利用下さい。
藤越

才槌小路の踏切番
總裁から表彰
十二年間無事故の下山田氏

一日二百四十本の列車と二万の交通量のある才槌小路の踏切番として十二年間無事故を守り続けて来た平駅警手、下山田権一さん(五三)＝好間村愛谷＝が国鉄総裁から表彰されることになつた

栄の受賞者下山田さんは大正十一年八月平保線区に勤務し二十七年には三十年勤続功労賞を受けた人で、平駅才槌小路踏切警手となつたのは戦時中の昭和十八年十二月八日、同踏切地点は一日当り常磐線百二十八本、磐越東線三十三本計百七十一本が通るほか一日平均七十本の貨車入替など十分間に一回の割にしや断機をおろさねばならない、一方交叉するこの郡山街道は自動車四二五、小型自動車オート三輪四四〇、牛馬荷車一九四自転車小車三〇四〇、歩行者五〇八三計九一八二という激しい一日の交通量(平駅調べ)で、加えてバスを除く自動車の踏切通過は大半が交通法違反(踏切前は一旦停車しなければならない)で止りもせずむしろ制限速度(二四キロ)以上の速度で通り抜けるなど事故防止困難な地点で十二年間無事故に守り通した下山田さんの功労が賞せられたもの、授賞は二月下旬の見込み

下山田さん談＝別に仕事が辛いと思つたことはありませんが多く人の命を預るだけに責任感が痛感さ[illegible]良い加減には過されません、たゞ注意して頂きたいのは自動車、特に小型自動車が超スピードで走り抜けることです(写真は下山田さん)



第二の京濱地區に
丹野副知事勿來町で語る

勿来町では一日午後一時から公民館で町村合併研究懇談会を開催した、この日臨席した丹野副知事及び井沢地方事務所長、県白石地方課長より合併促進についての利点を詳細に述べ終つて質疑応答があつて第一回の懇談会を終つたが丹野副知事が述べた合併要旨は左の通り

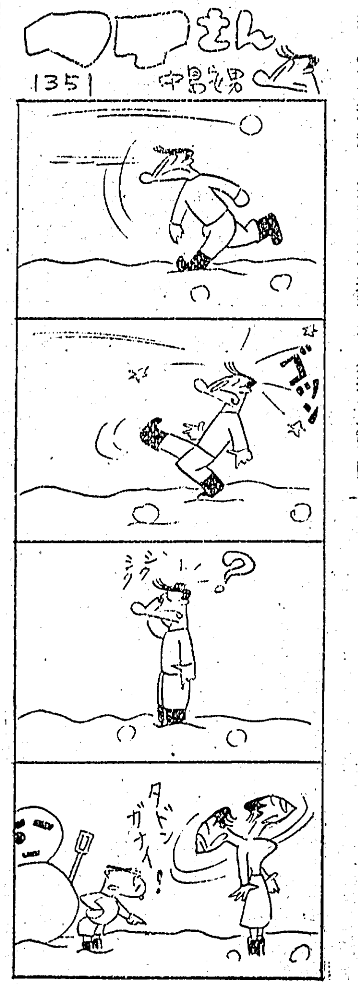
菊多方部は気候的にも又産業的にも恵まれ前途洋々たる地域である、即ち小名浜から菊多浦一帯の海水は塩分の濃度は三・七%という日本でも屈指的なもの従つて製塩には理想的とされ現に小名浜に大製塩工場が建設され又近く勿来海岸に同種製塩工場が新設されんとしている、元来日本の需要塩は二〇〇万トン内四分の一の製産で四分の三は輸入し高い外貨を払わなければならぬ現状にある、又小名浜に水素、錦町に呉羽と化成会社がありこれ等の工場は何ずれも近代化学の粋を集めているだけに間接的にも一般住民の福利増進は期して待つべきものがある、殊に天然的鮫川の用水を利用する所謂常磐地区総合開発事業並に只見川の開発に県当局は民間の協力を得、これが遂行に最大の努力を払つている、先ず小名浜港の如きは現在岸壁に四千トン級の船舶繋留に過ぎないが綜合開発の進展に伴い一万トン級の船舶が楽々横付けになる様にそれには最少限度一億八千万円を投じなければ理想的な貿易港とは言われない、又綜合開発事業にもくまれている鮫川にダムを施設し鮫川流域農村の進展と安定を図るのが目的、要するに海陸一帯が石城の一大商工都市となり第二の京浜地区たらしめんと努力を払つているのが我が大竹県政の一大事業であり、又念願でもある、斯様な時に際し町村制が施行されてより六十余年を経過した今日の町村は何らか、異常な躍進を見たとは言え福島県では三七〇町村中弱少町村は枚挙に遑ない、町村の合併は政府の施策で国家的経済を図るため即ち町村の健全財政は強化されることによつて民衆の福利増進となる、この意味に於て私は三町二カ村の合併を切に望んで止まない

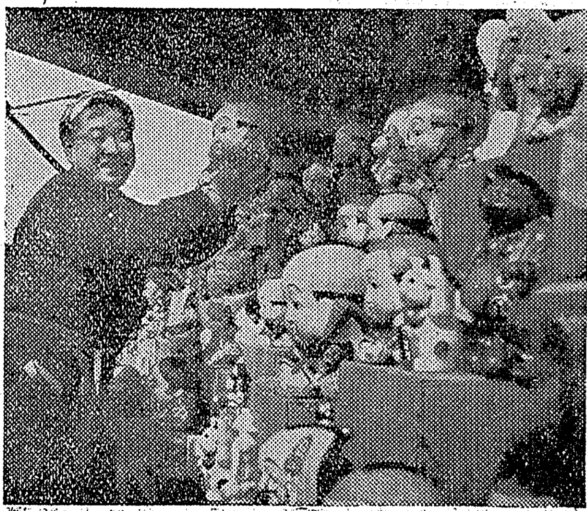
また井沢地方事務所長が行財政の利点を強調した

二月縣會に提出か
菊多方部の合併進む

石城郡二十九年度内町村合併計画の中絡らぬまま年を越した菊多方部三町二カ村の合併は、丹野副知事が来郡し一日勿来公民館で開いた町村合併研究会で急速に合併統合の気運が上昇し、入、上遠野村合併とともに急転直下二月の県会までに合併決議の見透しが明るくなつた、石城郡懸案の菊多方部合併問題は錦町、植田町、勿来町、川部村、山田村がそれぞれ町村自体の経済、行政事情を異にし、さらに感情問題がからんで一時は合併見込み薄を思わせたが、本年一月中旬から地方事務所では所長、次長、総務課長、入遠野、上遠野を加える三町四カ村に入れ代り立ち代りの説明会を行い、ことに一日には常磐地区総合開発状況視察を表向きに丹野副知事が現地に乗り込み、菊多方部各町村代表者を説得して円満合併への調停を行い、ここにさしも困難視されていた菊多方部の合併は急転直下解決の見透しが強くなり関係者を喜ばせている

地方事務所の話＝菊多方部、入遠野、上遠野の合併については二月の県会を目標に関係町村の協力を願つて来ましたが、現況は思わぬ好転[illegible]し急速に実現する公算が強くなりました





金比羅祭賑う
人出十万突破か
好天に恵まれ

常磐市鎮座、海の護り神である金比羅神社の祭典は一日夜の前夜祭にはじまつた、この二日(旧正月十日)が近郷近在よりの参詣で賑う日であるが「荒れ神様」といわれているだけに荒れる日を予想していたが、幸い朝からカラリと晴れた青空一杯、風もない春のような暖いお天気に参詣者の人波は例年になくグンと増し、湯本駅からはみ出される人、人はえんえんたる列、常磐交通のバスはヒツキリ無しに運行、いずれも満員のお客さまをはき出して行く、午前九時頃から人出は益々ふえて行きおびる前後は身動きならぬ雑踏ぶりだつた、お天気がよいので夕刻に至るも人出は減らず、人出十万を突破したものと思われ、近年にない記録を破つたことであろう(写真は当日の福助人形の露店風景常磐市松本庫造市議の撮影)

錦の強盗に七年求刑

旧ろう十二月十六日午前二時二十分ごろ石城郡錦町大字大倉字鳥居煙草小売商谷口ミチさん([illegible])方に侵び込みナイフを突きつけ「騒ぐと殺すぞ、金を出せ」と脅喝、更に母親ハナさん(七三)をも脅喝し、現金三千三百円を強奪、更にミチさんに左下アゴに全治一週間の傷を負わせた、安積郡生れ住居不定無職前科三犯松本勝こと古川勝(三三)に係る強盗致傷並に窃盗事件の求刑公判は二日午前十時五十分より地裁平支部法廷で大竹裁判長横地検事、増田弁護人立合で開かれ横地検事より懲役七年の求刑があつた、なお同人はこの外十二月六日石城郡錦町大字中田河原四郎さん方に侵入し現金八千円オーバー一着を盗んだほか三件の窃盗を働いていたもの

小校學藝會
磐城市の日程

磐城市内の各小学校学芸会は次の日程でそれぞれ午前九時より開く▼四日鹿島小▼六日泉小▼十日江名小▼十一日永崎小▼二十日小名浜第一小▼二十一日小名浜第二小

常磐市教委會

常磐市教育委員会では二日午後一時からひらき三十年度予算見積りに関する件について協議した

ないはま

○…去る三十一日昼チヨツト前「天候予報信号鉄塔に登らせてくれ」と一見漁夫風廿四、五才位の男が磐城市小名浜測候所にあらわれ願出た

○…たまたま同信号塔(高さ二十五米)の索綱が腐朽、切断し予算措置が講ぜられないまゝ放置の状態で本年になつてまだ一度も天候予報旗を掲げることができずに困つていた矢先であつたので「これは幸い、奇篤な方もいるものだ」と一時は大喜び、復旧方を頼もうとしたが余り調子のよい話に不審をいだき係員がよくよくきいたゞしたところ「信号塔頂上によじ登れば五千円貰える」との根も葉もないデマをきゝつけはせ参じたものと判つた

○…「五千円貰れるなら私が登りますよ」と係員にきかされ件の男あてはずれてショボショボお帰りとあいなつた

小名濱のダルマ市

磐城市小名浜地区の恒例ダルマ市は一日午前九時ごろより中島銀座通り県道上で開かれた、この日は快晴に恵まれた大漁祈願、五穀豊穣悪魔払いをダルマにたくし願う人がドツト繰り出しダルマや縁起物が飛ぶようによく売れ終日賑わつた

間近い市議選当選を願つてか大きな眼なしダルマも売れたよとこの日ばかりはダルマ屋さんホクホク顔だつた

地方勞委推選

三月三十一日で任期満了となる地方労働委員会委員の推薦期間は二月十日から二十八日までに行われる

新車發表展示會

2月4日
午前10時から
午後4時まで

オースチン
A50
ケンブリツジサルーン

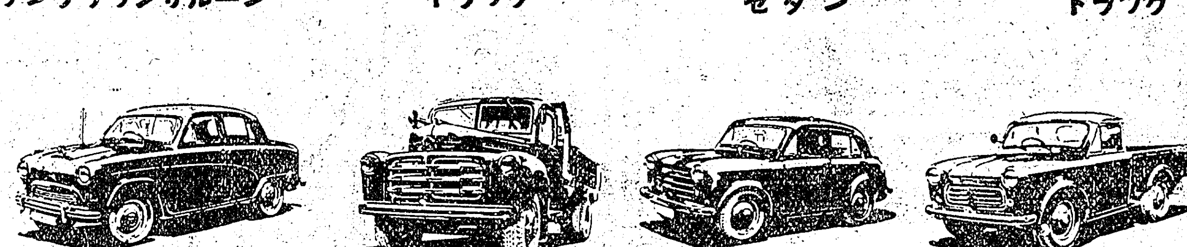
ニッサン
482型
トラツク

ダットサン
110型
セダン

ダットサン
120型
トラツク

會場
福島日産自動車
販賣株式會社
平支社
部品部 電663　車輛部 電1617
平市材木町34

福島日産自動車販賣株式會社



その頃

中田初穂

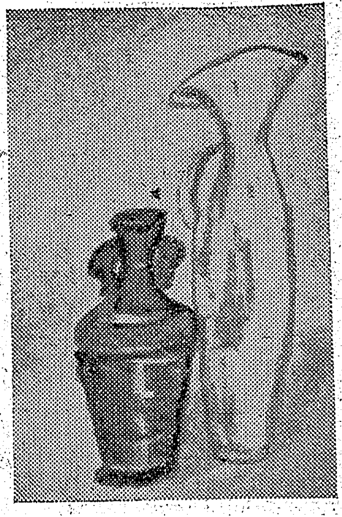
【8】

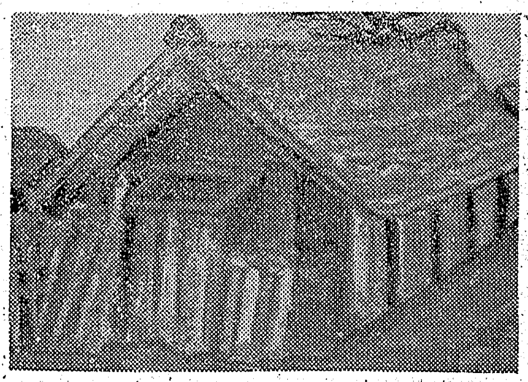
みかんの花が咲いている

自由主義とか民主的の個人の独立等と言つても囲りや教えがバラバラで、今の暮しが崩れて生きることさえ出来ないではないかと思い悩むと、気が重くなるばかりで解決はされず、今迄は辛くも守つて来た信念の動揺をやつと喰い留めてはいても、親と子と或は夫婦の間でさえ変つてしまう処世観。昔は老年となれば信者や講社で簡潔な旅をしながら、社寺の順礼や説話や同友の話に心も眼も広くする機会もあつたが、せち辛く金にも行詰つた今の世の中では世間や考え方も狭くなり、えこいぢな程に今の自分の考えを守つて、然もその若い頃そうなると考えていた有様と今の現実の有様との違い。死ぬ迄働き続けなければ食えず倒れれば捨てられる無情に対する怒りと不満を胸に包んでいる老人。或はせめてもの古い心のやり場を求めて、取り留めもない新興宗教に迷い込んでいる人々。或は逆に戦後派の成金の中にはお稲荷さんやお鳥さんを自分の味方に考えて、身勝手やでまかして儲けたことも信心したことに対する当然の御利益を受けているように思つて図に乗つている有様。神主や僧侶もおこぼれを貰う為にその使用人に成り下つて、神や佛の正しい道を傳えるのでは無く、ひたすら賽銭と御布施や寄附金を目当てにひげの下を払い、自分の生活を楽にしたり飾り立てることにうつゝを抜いている有様。わきから見てもその余りの露骨さにあきれるよりは唾を吐き度くなるような馬鹿らしさ「宗教は阿片である」という事を文字通り見せつけて末世的にあがいている有様。然し宗教が不必要で悪いのではなく、不動の諸刀の剣の「敵も切り自己身中の賊も切る」教えと行動が欠けているのであり、科学や哲学だけでは個性の同調や安心の境地は出来ない世の中になつて居り、大乗と小乗とがなぜ説かれたかという事に就ても考察しなければならない段階に迄来て居り、原爆や集團保障という力の均衡の方式では打開出来ない迄に世界的にも行詰つて居り、科学と哲学と宗教とをじつくりと再検討してみる必要性が生じていると信治には思い考えられた。かつては労働運動の急先方として寝食も個人の生活も打込んで健闘していた信治の旧友の松本もあの「労働者による生産管理」の苦闘と経験から、「労働者の参加する経営」に切り換え、「統計的品質管理」の道へと到達したが、中小企業の中には義理や人情の足かせがあり、教養と信念の問題も未発展の儘にからみ込んで来て妙に裏切られたり、御用組合化の方向へ転進し勝ちであり、孤立させられるような立場に追い込まれて、理性とか感情とか行動とかで何かバラバラで別個に孤立して、綜合した成果が挙らず、「智仁勇」というような統一化された観念で、丁度教会の集会の様な同志的な会合と研究とで結ばれなければ、力として盛り上らないように考えられ昔の同志達とも又交通を初めたのであつたが、それらの友達の多くは暫らく離れていた間に、時代の変遷や生活の変化の為に、若い情熱というようなものは消えて、「廿代で社会主義に心を引かれないのは同情心がないのであり、卅代でまだ心を引かれているのは、考えが足りない」とか言う言葉通りを地でいつて、平凡な生活に入つている者が大部分で、「自ら自身は何か取残されて人生の終末を迎える様な一抹の淋しささえも感じる事があるが、何とかして定期的の修養道場の集会のようなものを持ちたい。」というような事をその信治の旧友は書き送つて来た事もあつた。

学芸

平二小作品





静物　六の三　小野道夫

風景　六の三　志賀とし子

希望の門出　師の恩　友の情

平一小六年　石川進

[illegible]六年　[illegible]

六年間を省り見て

六の三　本間道久

母に連れられて二小の校門をくぐつたのは、今からちようど六年前であつた。初めて名前をさゝれた時、わけがわからなくておじおじしてなかなか返事をしなかつた事があつた。今考えるとおかしくてたまらない。一年の時の先生は力丸先生といつた。お話が大すきで、毎日お話をして下さつた。二年の時の先生は、作山先生といつた。少し体は小さいが、とても良い先生でした。三年まで受持つてくれました。四年になつて大塚先生というめがねをかけた先生です算数と音楽が大すきです。夏は臨海学校で豊間の塩屋崎とう台までいつた事があります。その時の楽しかつた事等がまざまざと思い出されます。五年になつて一番楽しかつたのは、小名浜水素工場見学です。大きい工場の中では、汽車や自動車がいそがしく行きゝしていました。氷山のように真白くあとからあとから出てくる水素は、いつになつたらとまるのかなと想像も出来ない位です。次に測候所を見学しました。地しんや風速を調べるのは、機械一人で目もりをつけて行く、ほんとうに便利に出来ていました。それから港に行きました。防波堤にこしかけて弁当を食べた味は忘れられません。浜におりてハマグリの子供を取つたりして遊んだ楽しさは忘れられません。それから海上保安ちようのじゆんし船「うずら」を見学しました。乗つて見ると体が上に上つたり下つたりしてゆかいです。船をひとまわりしていかりづなのふといのにびつくりしました。海の方を見るとさばの子が列を作つておよいでいた。船室に入つた。地下室に入つた感じです。楽しい思い出の一日でした。十二月のクリスマスの時買つていただいた自転車、僕は毎日乗りまわして、お使いにいつたりしてとても便利になりました。六年になつて一番最高学年になつた。月日のたつのは早いものである。五月の修学旅行は雨であつた。朝早く汽車で母達に送られて東京に行つた。初めての旅行であつた。雨ではあつたが、雨だつた事が一番記おくにのこるであろう。観光バスに乗つて世界を一周したような感じがする。皇居前の広場はほんとうにきれいである。白鳥がならんでおよいでいるのは美しかつた。博物館は僕のむねに一番やきついて居る。今度行つた時は、必ずもう一度見てこようと思う。九月には明るい新校舎が建てられた。図書室、図画室理科室、音楽室の四教室が出来上つた。南向きなので温室に入つてる様である。このごろの授業がとても楽しみです。こんな立派な二小からはなれて行くのは、とてもさびしい気持がします。目をつぶると秋の運動会、遠足など走馬燈のように、いろいろ思い出されてきます。社会に出るには、まず学習をしつかり身につけ、よき社会人となるよう一心に勉強にはげみ学生の本ぶんを全うしようと思います。

草野小、中校歌

四日學藝會に發表

平市草野小、中学校では四日午前八時半から中学校講堂で合同学芸会を開き、同校同窓会（会長阿部毎吉氏）中心となり一般に募集した作詞二十四点から選んだ校歌の発表が行われる

▼小学校校歌（作詞飯島諒、作曲斎藤久）

青い[illegible]どり松
はり[illegible]に陽をうけて
あゝ楽しい草野の友よ
愉快にはげもう

▼中学校校歌（作詞渡辺正三、校町飯島諒　作曲斎藤久）

黒潮よせて磯なるる
獅子の浜の白き真砂
若き胸に夢を秘めて
ここにして学ぶ我等
いざや謳わん草野中学校

バックネット完成祝賀野球

勿來高校

勿来高等学校では昨年十二月中グランドに野球用のバックネットを約二十万円を投じ平市鈴木機械工業所が請負着工されていたが一月中旬ごろ完成を見たので来る二十五、六日ごろ完成祝賀の親善野球試合大会を開くべく目下準備を進めている、なお本格的完成祝賀野球大会は五月の開校記念日をトし盛大に催される

百人一首の講座を開く

全日本かるた協会湯本支部、平やよい会、好間つらぬき会、湯本公民館共催で六日午後五時から湯本公民館で全日本かるた協会長（八段）伊藤秀吉氏を招き百人一首の趣味講座とかるた早取りの実地指導を行う、会費不要、同好者多数の聴講と参加を希望している

[illegible]たより

永山洋品店で割引

植田町本町通り永山洋品店では春向き洋品を初め流行既製品男女ズボン類を豊富に取揃え割引奉仕中

森合歯科は好評

植田町森合歯科医院は正副院長（親子）共に技術が優秀とあつて何時も患者が絶えない、それというのも実費的に而かも懇切に治療に当つているから…

ホシ友タクシー

錦町中田に車庫を新設し華々しく営業を開始しているホシ友タクシーは三台の美麗な小型で走り廻りしかも時間が正確とあつて好評

短歌批評會

常磐市短歌会では十二日午後六時から市公民館ホールで短歌作品の相互批評会をひらく

労働教育の巡回映寫會

平労政事務所主催の労働教育映画の巡回映写会は十日から二十三日まで行い申込み受付けを九日まで受け付ける、映写映画は「斗魂」「組合員教育」「手は語る」で、現在申込決定は十三日隅田川炭鉱組合、十九日常磐炭鉱内郷支部の二カ所

今晩のラジオ

2日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五 （郡）郷土風物詩
七・三〇 即興劇場特集
八・一五 落語と漫才
九・一五 ピアノ協奏曲
一〇・一五 劇「扇小倫恋暦」 小堀明男ほか

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
七・三〇 浪曲名人集
八・〇〇 連続講談
八・三〇 アルゼンチンタンゴ
九・〇五 ドレミファゲーム
九・三五 角家演芸会 三遊亭円生
一〇・〇五 名作アルバム
一〇・三〇 夜の希望音楽会

今週の映画

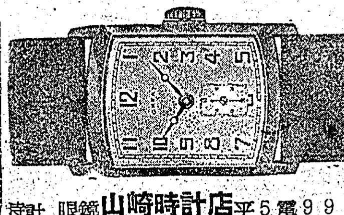
29日—4日

☆平館　夜七時　天晴れ浮世道中　恋化粧
☆民劇　夜六時三〇分　初恋カナリヤ娘　紋三郎の秀　愛すればこそ
☆聚楽館　夜六時三〇分　あの手この手　ジャングルの決斗（八日日まで）
☆ひかり座　夜六時一五分　ジョニイ・ダーク　ケイン号の叛乱（六日まで）
☆世界館　夜六時一三分　殴で行くのは　さいざんす二刀流　川のある下町の話

新しい は富士

純良 毛布
永い信用に一流メーカー品をいつも豊富に取揃え
（〇）の店 中野洋品店 平電533

平驛前でいつ何時でもお食事の出来る店
トラヤ食堂
デンワ 一三六〇


時計 眼鏡 山崎時計店 平5電991

カメラは田中

肉の御用は
三二三屋へ
TEL・323

眼鏡専門 各眼科医指定

平指定商チケットご利用下さい
玉屋
平市二丁目電910

經營の分析、能率の調査
企業經營の診断を致します
公認會計士 高橋義
平市田町五の六（三延ビル三階）
平驛前三十米道路東側電一〇一七

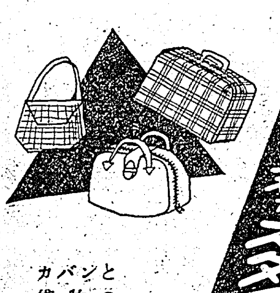
洋服の店
平指定商加盟店
背広三ツ組
オーバー
ジャンバー
ズボン
★平指定商チケットを御利用下さい
（恵）丸恵屋
平市中央通り電1853

第四回石城酒造品評會
第二回全國清酒品評會
優等賞受領
吟香に薫る
天宏
山宗酒造店
平市南町電三二三

文化的で一番安全な煖房器
ナショナル

電氣コタツ
電氣足温器
電氣ストーブ
電氣火鉢
電氣座布團
角型ストーブ
藤越

近代人の革靴
合成底の強さ（革の三倍）はお履きになつた方が証明して呉れます 軽い履き心地と伸びずふくれずすべらない特性は益々愛用者を増しています しかも十カ月間無料修繕の保証券つきで値段も革底の靴より安いと大評判です
平市銀座通 電一二〇四 スガタ靴メーカー
平市二丁目 電一〇五九 スガタ靴支店


斬新なスタイル
カバンと袋物の専門デパート
ヨシダカバン店
平驛前ぎんざ TEL・981